

# ウォーターベッド

## 教科・場面

総合

## 授業・実践のねらい

- 【年間目標】 季節や行事に関する活動から、四季の変化や文化に触れる面白さを感じる
- 【本授業目標】 ウォーターベッド独特の浮遊感や冷たさを感じる

## 対象の児童・生徒

- ・高等部1～3年生のA班（19名）
- ・本校の実態把握チェックリスト（コミュニケーション）要求表出・人間関係ともにI～IVまで幅広い実態。言葉かけに対して身振り、発声で応答する生徒や表情、視線で表出する生徒など実態は様々である。

## 教材・教具

衣類圧縮袋 L サイズに4ℓの水を入れた物を2つ用意し、布団圧縮袋 M サイズに入れて防水テープでしっかりと封をする。



## 工夫したところ

- ・水感が視覚化できるように青色の入浴剤やキラキラセロハン、モールを切って入れた。
- ・独特の浮遊感が体験できるように、水で膨らむプルプルボール（小と大）を入れた。

## 授業展開・教材の使い方・実践の内容など

- ・プール学習が実施できなかったため、季節の学習として取り入れた。
- ・キラキラセロハンやモールは前授業に生徒たちで切り、袋に入れた。
- ・2ℓのペットボトルを用いて何回かに分けて水を袋へ入れた。前日に入れると夏場はすぐぬるくなってしまうので、当日に入れると冷たさがよく伝わった。
- ・仰向けでウォーターベッドに乗って浮遊感を感じた。にがてな生徒は足で押ししたり正座して乗ったりと本人なりの乗り方で活動に取り組んだ。
- ・より爽快感が出るように、カニユレ部分に十分注意しながら霧吹きで上から少量の水を吹きかけた。



## 授業・実践を通じた児童生徒の変容

- ・初めは不安そうな表情の生徒が多かったが、次第に表情が和らいでリラックスしているようだった。
- ・霧吹きがかかる「3、2、1～！」の音が聞こえると顔をクシャッとして期待している様子も伺えた。顔に水がかかると笑顔になる生徒が多く、爽快感を楽しんでいるようだった。